

部 ^{ブカツ} 勝 飯



千葉県立松戸向陽高校

硬式野球部 編

スポーツのトレーニング効果を高めるため、練習の前後に頭と体にエネルギー補給する「補食」。学校の部活動の現場でも取り入れられ、さまざまな工夫が凝らされています。江戸川大学学生記者が千葉県各地の高校を訪ね、補食の時間にお邪魔する連載企画「部・勝・飯 ブカツメシ!」。今回は、甲子園常連校出身の監督と11名の部員で活動する千葉県松戸向陽高校硬式野球部。保護者会の皆さまがつくる「特製カレー」をいただきました!

 江戸川大学
EDOGAWA UNIVERSITY



yell sports
Area Sports Magazine
千葉

企画・取材・文
江戸川大学
「yell sports 制作チーム」

江戸川大学下記ゼミ所属の学生たちが「yell sports 千葉」で企画・取材・文を担当する連載企画。

社会学部 現代社会学科 レジャー・スポーツマネジメントコース 広岡敷ゼミ
社会学部 経営社会学科 スポーツビジネスコース 小林至ゼミ
メディアコミュニケーション学部 マス・コミュニケーション学科 神田洋ゼミ

千葉県立松戸向陽高校硬式野球部の『保護者会特製カレー』



POINT

「辛口鍋と甘口鍋を用意し、食欲を促すにんにくと生姜をプラス！」

- ◆白米・・・24合
- ◆鶏肉・・・1.5kg
- ◆じゃがいも・・・9個
- ◆玉ねぎ・・・6個
- ◆ニンジン・・・6本
- ◆カレー粉・・・3箱
- ◆福神漬・・・1袋
- ◆ニンニク・・・適量
- ◆生姜・・・適量

部員の成長が一番のやりがい
保護者会会長 倉持栄 (53歳)

補食の文化が代々受け継がれてきたようで、保護者会の引き継ぎノートにも書いてありました。基本的にはおむすび、パン、エネルギー補給のできるゼリーなどの差し入れが多いですね。

うちの野球部は、部員の多い強豪校とは全く違う大変さがあります。選手10名のチームなので、1人でも体調不良で欠けると試合ができないこともあります。自分のせいで試合が中止にならないように、とみんな体調管理にはとても気をつけています。試合中もランナーコーチ、バット引き等、攻撃時はベンチに誰もいない状態で休みなく動き回っています。1試合での疲労の蓄積は他校より大きいと思います。私たちの補食で少しでも元気になったり、笑顔になってくれたりしたらいいなと差し入れしています。

部員の中には高校から野球を始める初心者の子もいます。フライが捕れなかった子が捕れるようになること、自分のことのようにうれしくなるし、成長していく姿を目の当たりにできることが保護者会で応援を続ける一番のやりがいですね。

部員が少ないことでプラスもある
主将 倉持将太 (2年生)

休日に野球部を優先し、会場まで来て差し入れをしてくれる保護者会の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

体づくりに関しては、何度も間食をするのではなく一度の食事ですっきりと食べる方が体は大きくなると金城先生から教えていただいたので、三食をしっかりと食べるように頑張っています。

たんばく質と炭水化物がメインです。この冬に体重を10キロ増やすことが当面の目標ですね。

部員が少ないので紅白戦や実践形式の練習をできないのは辛いです。でも、先生に指導してもらえ一人当たりの時間は多いです。ノックを受けられる時間、1日に打てる数は他



校よりも多いのでプラスもあるんです。女子部員も1人いますが、練習試合では外野手として試合に出ています。

放課後に遊んでいる生徒を見ると「いいな」と思う時もありますが、遊ぶのは高校を卒業してからできます。高校の部活動は今しかできないので、この野球部で本当に有意義な時間を過ごせているなと思います。



固定観念に縛られない指導を
顧問 金城太希先生 (23歳)

保護者の方とお会いできる機会は多くないので、このように補食をして頂けるのは体づくりだけではなく交流という意味でも非常にありがたいです。

強豪校ではないので、まずは野球を好きになってもらうことを第一に考えています。将来、草野球でもいいので野球を続けてほしいです。

指導に関して、バッテリーングはゴロを打て、逆方向に打て、というのが昔からあります。私もそう指導されました。でも、今の野球はフライを打った方が得点率は上がるというデータが出ています。だから部員には数字的な根拠をもとに指導しています。極端な守備隊形を



取材後記 学生記者／高橋尚子
●社会学部 経営社会学科 スポーツビジネスコース2年

取材日はあいにくの雨。体育館での練習には部員、マネージャー、そして練習補助として卒業生も参加していました。少人数の部活動を、補食を提供する保護者の方々に加えて、多くの方たちが支えているのだと感じました。



強打にこだわり、柔軟な発想でチームの指導にあたる金城先生と、野球が大好きで集まった11名。高校野球ファンの私にとって応援したいチームがまた1校増えました。春の大会には絶対応援に行きます。頑張れ！松戸向陽！

千葉県立松戸向陽高等学校

校長：奥山眞壽美
〒270-2223 千葉県松戸市秋山682
全日制課程：普通科／福祉教養科(男女共学)

▶2011年に県立の松戸秋山高等学校と松戸矢切高等学校が統合して開校。「向学・自立・共生」の校訓のもと、学ぶ意欲にあふれ、豊かな心を持ち、社会に貢献する人間を育てることを教育目標としている。普通科と県内唯一の福祉に関する専門学科である福祉教養科を有し、さらに普通科の中に福祉コースを設置している。

▶硬式野球部：沖縄尚学高校の硬式野球部員として、甲子園春夏ベスト8、神宮大会優勝の実績を持つ金城太希先生が2019年に顧問に就任。現在は2年生9名、1年生2名の部員計11名(うちマネージャー1名、女子選手1名※2019年11月取材時)で春の県大会出場を目指し活動中。